

社会資本整備総合計画
(都市再生整備計画) 事後評価シート
羽川地区(第二期)

平成30年3月

栃木県小山市

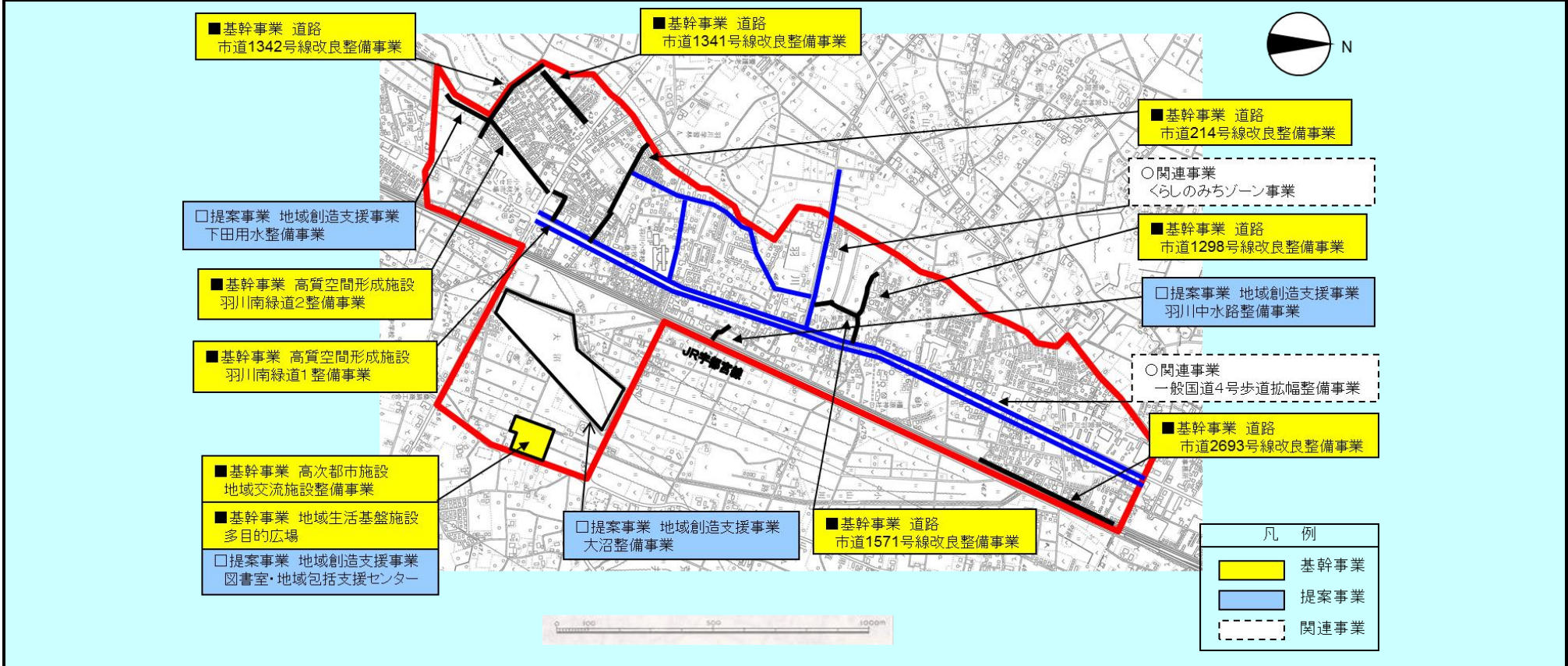
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	小山市	地区名	羽川地区(第二期)			面積	187.0				
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	1,837.0	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(新幹線側道(市道2693号線)、市道214号線、市道1342号線、外3路線)、地域生活基盤施設(桑地区中心施設)、高質空間形成施設(羽川南緑道整備1等)										
		提案事業	地域創造支援事業(下田用水整備事業、羽川中水路改修事業、図書室・地域包括支援センター、大沼整備事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-										
		提案事業	地域生活基盤施設(仮称)羽川下三広場整備事業、まちづくり活動推進業務(羽川地区まちづくり推進委員会活動事業費、専門家派遣)		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道1298号線、市道1571号線、外1路線)		日常の防犯性の向上及び災害時や緊急時の対応、かつ、快適な生活環境の形成を図るため。また、地区内の回遊性の向上のため追加			なし					
提案事業		地域生活基盤施設(桑地区中心施設(多目的広場)、高次都市施設(桑地区中心施設整備事業))		地域コミュニティの形成を図り、うるおいある地域づくりの核施設として活用するために追加			羽川地区の活発な地域活動や市民交流の増大の指標として「交流施設の利用者数」、「交流施設利用者の満足度」を追加						
交付期間の変更	当初	平成23年度～27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成 年度 ～ 年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	安全で利便性の高い道路や公園等の整備に対する満足度	%	12.5	H22	24.8	H27	26.9	45.4	○	あり なし	整備計画に基づく道路や広場等の整備が進むことで安全性と利便性の向上が図られた。	
	指標2	市道の狭隘道路に接した住宅の割合	%	100	H22	80	H27	81.5	67.7	○	あり なし	市道の拡幅改良整備により、狭隘道路の割合が改善され、緊急車両の進入が容易になり、安心・安全のまちづくりが構築されている。	
	指標3	交流施設の利用者数(講座に伴う利用者)	人/年	2,000	H22	7,000	H27		3,665	×	あり なし	本指標値は、桑地区中心施設内における市主催の講座に対する参加者の数である。利用者は、1.8倍に増え、十分に効果は発現しているといえるが、目標値となる7,000人には大きく届かなかった。指標の設定(3.5倍)が、過大であったと考えられる。	
指標4	交流施設利用者の満足度	%	14.0	H22	24.9	H27		52.1	○	あり なし	桑地区中心施設の整備により、世代間の交流や健康・ふれあいの拠点として、市民活動の活性化と地域コミュニティの形成に寄与している。		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
その他の数値指標1	交流施設の利用者数(施設全体の利用者)	人/年	15,185	H24				37,414				本指標値は、桑地区中心施設内全施設の利用者の数である。桑地区中心施設の新設により、市民自らが主体となる地域活動の拠点かつ地域文化創造の場の交流の核となる施設として位置づけられ、施設整備効果が十分に発現している。	
4)定性的な効果発現状況	本事業の実施に伴い、まちづくり活動団体等の積極的な取り組みが徐々に実を結び、各種事業に対する合意形成のとりまとめ等、協働のまちづくり活動が浸透してきた手応えがある。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	・事業追加に伴う新たな指標の設定 ・事業実施に伴う中間評価 ・住民アンケート			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				
	住民参加プロセス	・羽川地区まちづくり推進委員会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				
	持続的なまちづくり体制の構築	・羽川地区まちづくり推進委員会の活動支援、会議への参加と同委員会との意見交換及び調整			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				
羽川地区まちづくり推進委員会の活動支援、意見交換及び調整を継続的に実施していく。													

様式2-2 地区の概要

羽川地区(第二期)(栃木県小山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
目標1 緑道等の整備により、地域全体の回遊性の向上、また、散策等ができる住環境形成を図る。 目標2 地区のコミュニティの中心的役割を担う広場や交流施設を整備することにより、市街地の良好で魅力的な住環境の形成及び地域コミュニティの充実を図る。 目標3 地区内にある狭あい道路の拡幅改良整備を行う事により、緊急時・災害時に強い、安全な生活環境を形成する。	安全で利便性の高い道路や公園等の整備に対する満足度	単位: %	12.5	H22	24.8	H27	45.4	H29
	市道の狭隘道路に接した宅地の割合	単位: %	100	H22	80	H27	67.7	H29
	交流施設の利用者数(講座に伴う利用者)	単位: 回/年	2,000	H22	7,000	H27	3,665	H28
	交流施設利用者の満足度	単位: %	14.0	H22	24.9	H27	52.1	H29
	交流施設の利用者数(施設全体の利用者)	単位: 回/年	15,185	H22			37,414	H28



まちの課題の変化

- 「羽川地区まちづくり構想」に位置づけられた狭隘道路を整備し、狭隘道路の割合を改善できた。
- 広場の整備や道路拡幅整備に伴う歩行空間の確保により、歩行者の安全性と回遊性ネットワークの向上が実現された。
- 国道4号整備や道路拡幅整備に併せ、地区計画制度の適用(かき又はさくの構造の制限等)により、落ち着いた、防災性と防犯性に優れた沿道景観を形成し、地区のまちなみづくりを推進している。
- 地区の中心的な公園や狭隘道路等未整備課所の事業実施による回遊性ネットワークのさらなる向上が必要である。
- 道路整備による通過交通増大に伴う安全性の確保が新たな課題となっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 地域の活性化のために、地元の交流の場づくりや交流活動等のイベント開催支援を行う。
- まちづくり推進委員会と協働で生活道路や生活幹線道路の整備を行い、狭隘道路の解消及び回遊性ネットワークの充実を図る。
- 通過交通量増加に伴う安全性の確保のため道路整備にあわせた安全対策事業を行う。